

2009年度

科目名	医薬品開発学B				
担当教員	西山 省二、雪村 時人				
配当	薬科4	コード	41460		
開期	後期	講時	木曜日1限	単位数	
授業テーマ	薬剤師として臨床試験(治験と称する)の進め方とその背景にある医療倫理について学習する。同時に治験コーディネーター(CRC)と臨床開発モニター(モニター)の業務を理解する。				
目的と概要	新薬の開発で最も重要なステップである臨床試験(治験と称する)の具体的な進め方とその背景にある医療倫理について学習する。同時に、臨床試験を実施するなかで重要な役割を果たす治験コーディネーター(CRC)と臨床開発モニター(モニター)の業務を理解する。				
成績評価法	小テストや学期末テストの成績、出席態度、レポート、平常点を総合的に評価する。				
テキスト					
参考書	日本薬学会編スタンダード薬学シリーズ「ヒューマニズム・薬学入門」 東京化学同人 日本臨床薬理学会編CRCテキストブック 医学書院				
履修に 当たっての 注意・助言					
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	医薬品開発のプロセス総論	非臨床試験、臨床試験、医薬品の生産、市販後調査までのプロセスとそのキーワードを説明できる	C17	知識
2	講義	臨床試験プロセス総論	臨床試験の各相の特長とそれぞれの相でのCRCの役割を概説できる	C17(4)	知識・態度
3	講義	ヘルシンキ宣言の精神とインフォームドコンセント	ヘルシンキ宣言の持つ歴史的背景とその意義およびインフォームドコンセントの臨床試験で果たす役割を説明できる	C17(4)	知識・態度
4	講義	GCP等の関連法規	臨床試験や医薬品の生産に関連した法規の意義と内容を説明できる	C17(4)	知識・態度
5	講義	CRC役割と業務総論	臨床試験におけるCRCと臨床開発モニターの果たす役割と業務の内容を概説できる	独自	知識・態度
6	講義	CRCのIRB等での役割	臨床試験実施における治験事務局、CRC、モニター、IRBの関係を理解し、IRBの持つ役割を説明できる	独自	知識・態度
7	講義	治験実施計画書の作成方法(基礎)	臨床試験の成否に重要な治験実施計画書作成の基礎となる理論を概説できる	独自	知識・態度
8	講義	治験実施計画書の作成方法(応用)	治験実施計画作成に必要な応用的側面の今日的テーマについて概説できる	独自	知識・態度
9	講義	カルテの閲覧方法(その1)	カルテ(診療録)などの原資料を直接閲覧により照合し、症例報告書との一致性を確認し、治験の適切な実施およびデータの信頼性等を検証する直接閲覧(SDV)の目的および方法を説明できる	C17(4)	知識・態度
10	講義	カルテの閲覧方法(その2)	カルテ(診療録)などの原資料を直接閲覧により照合し、症例報告書との一致性を確認し、治験の適切な実施およびデータの信頼性等を検証する直接閲覧(SDV)の目的および方法を説明できる	C17(4)	知識・態度
11	講義	治験薬管理と服薬指導(その1)	治験薬の作製から配布、保管方法について概説できる	C17(4)	知識・態度
12	講義	治験薬管理と服薬指導(その2)	治験薬の服薬指導方法およびその手順について概説できる	C17(4)	知識・態度
13	講義	モニタリングの実際	治験の進捗状況の調査や治験データの集積、管理をするための方法について概説できる	C17(4)	知識・態度
14	講義	データマネージメント	臨床試験データの収集、保管管理、その品質保証の方法について概説できる。	C17(4)	知識・態度
15	講義	治験データの監査と品質管理	1) 監査により治験が治験実施計画書およびGCPを遵守して実行されていることを保証することを品質保証(QA)というが、監査の目的および方法を説明できる	C17(4)	知識・態度
			2) 治験の品質保証(QA)の一環として行われる品質管理(QC)の目的および方法を説明できる	C17(4)	知識・態度
授業方法					

一般 目標	学習方法	場所	教員数 (補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
C17(1) C17(4)	講義	講義室	2	パワーポイント、配布資料、 自主学習問題集	90 × 14